

こんにちは。副院長の西村三奈です。

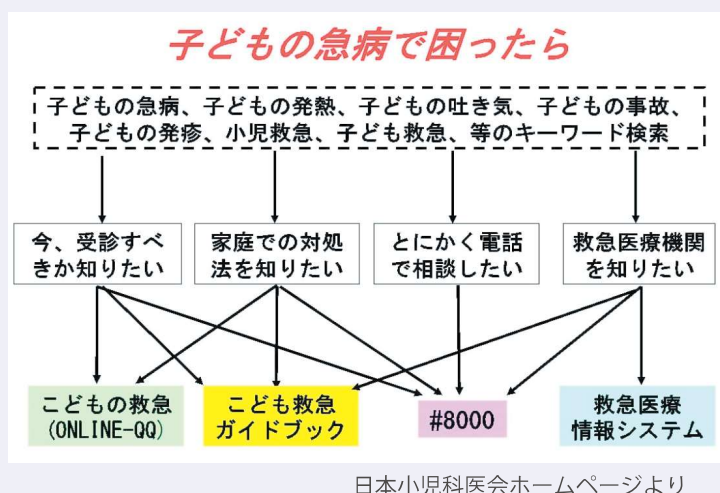
暖かくて過ごしやすい季節になりましたね。5 月といえば子どもの日！みなさんは子どもの頃、抜けた乳歯をどうしましたか？『上の乳歯が抜けたら床下、下の乳歯が抜けたら屋根の上へ放り投げる』という言い伝えをご存知でしょうか？続いて生えてくる大人の歯をその方向へちゃんと導いてくれるようにという昔からのおまじないです。またその際『ネズミの歯のように強くなれ！』というような願いをかけることが多いようです。

このようなおまじないは世界各地にあり、欧米では抜けた乳歯を枕元に置いて眠ると夜中に歯の妖精、トゥースフェアリーがこっそりその歯をもらいに来てお礼にコインやプレゼントと交換してくれると言い伝えられています。トゥースフェアリーはきれいな乳歯しか持って行ってくれないので、抜けた歯がむし歯の場合はやって来ないそうです。『歯を磨かないと妖精が来ないわよ！』とむし歯予防の戒めにもなっています。

所変われば風習も異なりますが、子どもの丈夫な歯を願う気持ちは同じですね。これからも地域の子どもたちの健康な歯を守るお手伝いを続けていきたいと思っています。

子どもの急な症状や病気、信頼できる情報源は？

先日 twitter で「熱性けいれん」のキーワードがトレンド入り（話題になっている状態のこと）していました。熱性けいれんとは生後 5 か月～5 歳くらいまでに発熱時に起きるけいれん発作のことです。SNS のおかげで「知る」きっかけが増えるのはとても良いことですが、その反面、誤った情報や古い情報も多いので、いざという時もしくは普段からの情報収集として信頼できる情報源を確保しておくことが大切ですよね。



日本小児科医会のホームページには、救急車を呼ぶか迷った時の相談電話番号や子供の病気について信頼性の高い情報が記載されているサイトなどがまとめられていますのでご参考になさってください。大阪府のホームページからも「こんな時どうする？家庭で子どもを見守るために」という可愛いデザインの冊子がダウンロードできますので、検索してみてください。

医療ライター 妹尾 淳子